

2024年10月

第169号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
Tel. 018-883-1888

## 「灯火親しむの候」

今年の夏の猛暑、台風の居座りでの広い範囲で河川の氾濫や土砂崩れに見舞われ、異常気象が猛威を振るった。

地球の温暖化が進み、こうした現象は異常でなくなりつつある。やっ、気温が平年に近づいてきている。

各地でお盆の祭りや花火大会も催されるようになった。やっ、「味覚の秋」「灯火親しむの候」がやってきた。秋の夜長、読書を楽しもうということだろう。

先日、某新聞に「読書習慣の喪失は危機的だ」という社説が掲載された。これによると、スマートフォンに多くの時間を割き「読書離れ」が深刻になっているということである。

文化庁が5年に一度調査している「国語に関する世論調査」の23年度結果が公表された。「1ヶ月に読む本の冊数」は電子書籍を含めて「読まない」が過去最多の63%に上った。08年度調査開始以来、4割台で推移してきたが急増する形となっている。また、以前に比べて「読書量が減っている」と回答した人も69%に達している。

文化庁は「スマホのアプリやSNSなどのサービスの多様化」が背景にあると分析している。本を読むということは、新しい知識を得るだけでなく、登場人物に感情移入して喜怒哀楽を共にしたり、深く考えて内省したりすることで、人間形成に大きな影響を与え、一冊との出会いが、その後の人生を左右することもある。

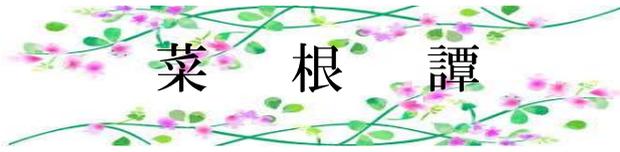
本を読まなくてもSNSの投稿やインターネット記事を毎日読んでいる人は75%にも上る。しかし、SNSの刺激的な短文は、瞬間的な怒りや感情に結びつきやすく、デジタルは紙面に比べて、記憶に残りにくいと言われている。

全国各地の書店も減少している。地域に書店がない「無書店自治体」が25%にも上る。由々しき事態だ。

フランスや韓国では、書店活性化や売上増につながる文化支援に取り組んでいる。中国、韓国では高学歴が人生を決定づけるとして受験戦争が加熱している。海外への留学も日本は減少している時に両国は増加しており、学術論文の数も中国が圧倒的に多い。将来の日本を背負う若者たちが奮起して知識向上に取り組んで頂きたいと思う。

われわれ一般人も「灯火親しむべし」を現代のこととして夜長を活用して読書に少しでも時間を割いていく、ゆとりある習慣を身につけたいものだ。

因みに、2024年の読書週間は、10月27日から11月9日となっている。



(中国古典の知恵に学ぶ)

### 無欲に生きる

人間は欲の皮が突っ張るとどうなるか。強い意志や信念は崩れ、理性は働かなくなる。

そして人柄も冷たく残酷になり、潔白な心も悪に染まって汚れてしまう。人としての品格は地に落ちる。

だからこそ、昔のすぐれた人格者たちは、無欲であることが一番大切だと言って、俗世間を超越して生きたのだ。

(前集78)

### 困難に直面しても平然としている

人格を高めたければ、以下にあげる四つの心がけが必要である。

1. 苦境に陥っても、困難に直面しても、何事もないかのように平然と構えていること。
2. 酒の席では、羽目をはずすことなく言動を慎むこと。
3. 権力者と出会っても、媚びたりせず毅然とした態度をとること。
4. 貧しく身寄りのない人に同情し、いたわりの気持ちを持って接すること。

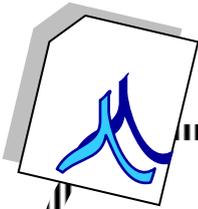
(前集220)

### 本質に迫るまで深く学ぶ

本を読むときは、その本の真髓や精神を感じられるくらいまで、しっかり読み込むことが大切である。そうすれば、うわべだけの理解にとどまらなくてすむ。

物事を観察するときは、そのものと一体になるまでじっくりと見る大切である。そうすれば、物の表面的な現象にとらわれることなく、本質を見抜くことができる。

(前集214)



## ジャン＝フランソワ・ミレー (19世紀フランスを代表する画家)

1814年10月4日	ノルマンディー地方の農家の長男として生まれた。
1832年頃	シェルブールの画家のところで絵の修行を始める。
1837年	パリのエコール・デ・ボザール(国立美術学校)で奨学金を得て本格的に絵の勉強を始める。
1840年	肖像画でサロン・ド・パリに初入選。
1847年	サロンに神話画入選。
1848年	フランス2月革命後、サロンに出品した農民画「箕をふるう人」が好評を博す。
1851年	サロンに「種まく人」を提出入選。
1857年	「落穂拾い」を出品、貧しい農民の絵として政治的議論を巻き起こした。
1860年	「晩鐘」千フランで売却。(1889年死後55万3千フランで落札される)
1864年	「羊飼いの少女」が絶賛された。
1867年	パリ万博で一室に9点の代表作を展示し、巨匠としての名声を確立した。
1868年8月	レジオンドヌール勲章(シュヴァリエ)授賞。
1874年1月20日	健康状態悪化、死亡。享年60歳。

## オススメの BOOK



### 「独裁が生まれた日」(習近平と虚構の時代)

作者 大熊 雄一郎 発行 白水社

著者は2005年に時事通信社入社。2009年に共同通信社に移籍。社会部、外信部を経て2011年から2015年まで中国総局で反日デモや党幹部の失脚、香港の雨傘運動など取材。2017年に再度中国総局に赴任。米中貿易摩擦、香港大規模デモ、武漢コロナ流行、中国共産党結党100周年、北京冬季五輪等取材。第20回党大会をめぐるスクープで国際報道に貢献、「ボーン・上田記念国際記者賞」を授賞。

本書は毛主席の個人崇拜を復活させ、鄧小平の進めた党幹部の任期・集団指導体制などことごとく破棄し、習近平に権力が集中するようにした。政敵を次々に失脚させ、個人の言論の自由は一切認めないばかりか、反する言動を漏らしたものは監視強化の上処罰、コロナ対策も中央の意向を忖度し処罰を恐れ対応に大幅な遅れが出た。とにかく習近平の意向に逆らう者は抹殺される運命にある。これが現代中国の姿かとあぜんとなさせられる。



## リースカーの車両費用特約

オートリースはユーザーが自身で指定した車両をリース会社に代理購入してもらい、それを賃借する契約です。オートリースは、設備投資にかかる初期費用の軽減・平準化という会計面、金融機関の借入枠保全や資金の効率運用という財務面、車両管理業務の負担軽減という管理面のメリットなどから、法人ユーザーを中心に拡大してきました。現在は自動車メーカーや車両販売事業者等によるリース商品・サブスクリプションサービスの増加が需要を後押しし、法人のみならず、個人の利用者（個人事業主含む）を対象にした個人向けオートリース市場も順調に拡大しています。そこで、リースカー特有のリスクに対応した「リースカーの車両費用特約」

### リースカーの車両費用特約の特徴

万が一全損事故にあってしまった時の、リース中途解約金の心配がありません！  
車両全損事故時の支払保険金をリース契約の中途解約金と同額とする特約です。

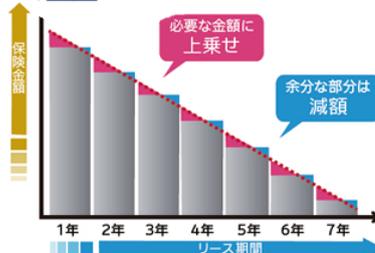
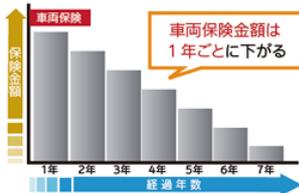
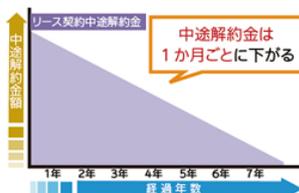
リースカー  
全損事故時の  
支払保険金

=

リース契約の  
中途解約費用



通常の車両保険  
ではリース車が全損した  
場合に、必要な補償に  
対して補償額の不足や超過が  
発生します。本プランでは  
これを解決し合理的な補償を  
実現しました！



- .....通常の車両保険金額
- .....リース契約の中途解約費用=全損時の保険金お受取額
- .....通常の車両保険での超過補償部分
- .....通常の車両保険での不足補償部分

はご存じでしょうか。万が一全損事故にあってしまった時の、リース中途解約金の心配がありません。車両全損事故時の支払保険金をリース契約の中途解約金と同額とする特約です。通常の車両保険ではカバーできませんので、リースカーをご検討の方はぜひ一度ご相談ください。

### 【編集後記】

ここ数日ビッグニュースが相次いだ。悲しい知らせは「能登半島」に容赦なく豪雨が襲い、先の地震災害に追い打ちをかけ仮設住宅も床上浸水し犠牲者も出た、心からお見舞い申し上げたい。

立憲民主党の新代表に野田佳彦元首相が選出された。スポーツの世界ではドジャースの大谷翔平選手がホームラン53号、盗塁55と前人未到の記録を毎日のように塗り替えている。大相撲では「大の里関が優勝し、これまで最速の初土俵以来9場所で大関昇進となる見込みだ。

これから自由民主党の総裁が選出される。米国の大統領選挙も目を離せない。世界は目まぐるしく動いている。